

# 第 31 回極真空手道選手権福島県大会 出場選手募集案内

( I B K O 第 10 回全日本空手道選手権大会組手の部指定大会)

- 1.開催日 平成 30 年 7 月 1 日 (日)  
2.選手受付 午前 9 時 (団体受付ではありません、個々に受付を行ってください。) 開会式 午前 10 時  
3.会場 西部体育館 〒963-0201 福島県郡山市大槻町字漆棒 48 TEL024-961-4250  
4.試合ルール 国際空手道連盟ルール

## 5.出場クラス 【★全日本選抜】

- ①小学 1 年女子②小学 1 年男子③小学 2 年女子④小学 2 年男子⑤小学 3 年女子⑥小学 3 年男子  
⑦小学 4 年女子 34 k g 未満⑧小学 4 年女子 34 k g 以上⑨小学 4 年男子 34 k g 未満⑩小学 4 年男子 34 k g 以上  
⑪小学 5 年女子 38 k g 未満⑫小学 5 年女子 38 k g 以上⑬小学 5 年男子 38 k g 未満⑭小学 5 年男子 38 k g 以上  
⑮小学 6 年女子 43 k g 未満⑯小学 6 年女子 43 k g 以上⑰小学 6 年男子 43 k g 未満⑱小学 6 年男子 43 k g 以上  
⑲中学 1 年女子 47 k g 未満⑳中学 1 年女子 47 k g 以上㉑中学 2・3 年女子 52 k g 未満㉒中学 2・3 年女子 52 k g 以上  
㉓中学 1 年男子 50 k g 未満㉔中学 1 年男子 50 k g 以上㉕中学 2・3 年男子 55 k g 未満㉖中学 2・3 年男子 55 k g 以上  
㉗高校 1 年男子 60 k g 未満㉘高校 1 年男子 60 k g 以上㉙高校 2・3 年男子 65 k g 未満㉚高校 2・3 年男子 65 k g 以上

## 【全日本選抜外】

- [A]幼児 [B]小学 1 年 [C]小学 2 年 [D]小学 3 年男子 [E]小学 4 年男子 [F]小学 5 年男子 [G]小学 6 年男子  
[H]小学 3・4 年女子 [I]小学 5・6 年女子 ※幼児・小学 1・2 年は男女混合  
[J]一般女子 [K]一般男子初級 (高校生以上 5 級まで) [L]マスターズ (43 歳以上男子) [M]一般男子

※全日本選抜階級は各階級上位 4 名が全日本出場権を獲得できます。

※定員に満たない階級があった場合、大会結果を考慮し大会事務局が推薦者を決定致します。

- 6.申込方法 以下①～②を現金書留にて大会事務局宛に郵送願います。

①出場申込書 (別紙所定用紙)

②参加費 7,000 円 (記念品含む) ※食中毒防止のため、お弁当の配布はありませんので各自ご準備ください。

- 7.申込締切 平成 30 年 5 月 19 日 (土) 必着厳守!

- 8.注意事項 ①書類不備の場合、無効とさせていただきます。※一旦納入した参加費はいかなる理由でも返金は致しません。  
②体重別階級の重量級以外は当日受付終了後計量を行います。主催者が準備する体重計で空手衣を着用し、規定体重の 2kg オーバーまでは認めます。2kg 以上の超過は失格とします。  
成長期の選手は体重オーバーにならないよう、階級選択を慎重に行ってください。  
③競技中の事故については、応急処置を行いますが、以後の責任は負いませんので、スポーツ保険等に必ず加入のこと。また健康保険証を持参ください。  
④ヘッドガード以外の防具は貸し出しは行いませんので、各自ご準備下さい。  
※ヘッドガードは自分の物も使用可、ただし赤・白のコーナーに合わせてご使用下さい。  
⑤選手、付添、応援の方は大会スタッフの指示に必ず従ってください。  
⑥選手・セコンドのコートの入退場時の挨拶の徹底。粗暴な態度や空手家として礼節を欠く行為があった場合失格とします。セコンドは 1 選手 2 名以内とし、道場のユニホーム又は公式戦に相応しい服装 (選手は空手着可) とします。  
⑦判定に対する抗議は一切認めません。 ⑧会場内の飲食は禁止です。(飲食はロビー・観客席のみ可)  
⑨審判・試合準備選手・セコンド・スタッフ以外は 1F 体育館フェンス内側に入場することは出来ません。応援は 1F フェンス外側・2F 観客席からお願い致します。

- 9.主催 国際空手道連盟極真会館 安齋道場

- 10.大会事務局 極真会館安齋道場〒963-8006 福島県郡山市赤木町 2-17 TEL090-7937-0530 FAX024-922-6414

# 第31回極真空手道選手権福島県大会 試合規約

## (国際空手道連盟ルール)

1. 判定基準 審判員および審議委員は同等の権限をもって競技の審査に当たるが、競技に関する最終決定は全て審判長の裁量による。試合の規定時間は以下の通りとする。但し、必要と認めた場合は、審判長の裁量により、改めて時間を設定することもありうる。大会進行は極力、予定スケジュールに沿わせるが、やむを得ない事態が起きた場合は、審判長・審議委員長・副審議委員長が協議の上、審判長が変更を指示することができる。
2. 試合時間 ①小学生以下 (予選) 本選1分30秒→延長1分(マスト) (決勝戦) 本戦1分30秒→延長1分→最終1分(マスト)  
 ②一般男子 (予選) 本選2分→延長2分→最終2分 (準決勝以降) 本戦3分→延長2分→最終2分  
 ③その他 (予選) 本選2分→最終2分 (準決勝以降) 本戦2分→延長2分→最終2分  
 ※体重判定はありません。最終延長戦で勝敗を決定します。

3. 防具

階級	ヘッドガード	拳サポ	PGグローブ	スネ	ヒザ	金的(女子フグー)	女子胸ガード
小学生以下	○(前網有)	○	×	○	小学3年以上○	○	小学3年以上○
一般男子	×	×	×	×	×	○	×
マスターズ	×	×	○	○	任意	○	×
高校男子(新人戦)	任意	×	○	○	任意	○	×
一般女子	任意	×	○	○	任意	○	○
中学男子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	×
中学女子	○(前網有)	×	○	○	任意	○	○

※ヘッドガードは主催者が用意。グローブはオープンフィンガークライの物(無い場合のみ主催者が用意)  
 その他の防具は貸し出しは行いませんので各自準備すること。  
 ※小学生以下はヒザガード: 小学3年以上は着用義務。女子胸ガード: 小学2年以下禁止。小学3年以上着用義務。  
 ※高校男子、一般女子はヘッドガード装着任意。装着する場合は前網無し。  
 ※金的ガード・フグーガードはズボンの内側に着用すること。  
 ※女子胸ガードは硬質プラスチックでないもの、また腹部を覆うものは不可。  
 ※女子フグーガードは男子のフォームアップを利用することもできます。  
 ※PGグローブ以外の靴は白の布製を使用すること。皮革製の靴は使用不可。  
 ※女子選手インナーシャツの色は白限定とします。  
 ※テレビジョン類は大会医師の許可を得て行ってください。

4. 着衣 清潔な空手衣を着用し規定のゼッケンを背中中央に貼り付けること。
5. 一本勝ち ①反則箇所を除く部分への突き・蹴り・肘打ち等で瞬間的に決め、相手選手を3秒以上ダウンさせるか相手が泣いたり(小学生以下)戦意を喪失させたとき一本勝ちとする。技あり2本で合わせ一本勝ちとする。
6. 技あり (小学生以下) ①反則箇所を除く部分への突き・蹴りなどで瞬間的に決め、そのダメージにより相手の動きが一時的に止まった時、又は大きく崩れた場合、体がくの字になった場合、防戦一方になった場合、足をひきずるような場合。  
 ②ノーガードで相手選手の上段に蹴り技がヒットした場合。  
 ③前蹴り・下段蹴り・足掛け技で相手をきれいに転倒させ、瞬時にタイミングよく下段突きを入れた場合。審判員の判断により、下段突きがなくても技ありとすることもある。  
 ④胴廻し回転蹴りをおかし瞬時にタイミングよく下段突きを決めた場合。  
 ⑤全く同じタイミングに両選手の蹴り技が決まった場合は相打ちとし、両方技ありとしない。  
 (中学生以上) ①反則箇所を除く部分への突き、蹴り、肘打ち等を決め、相手選手が一時的にダウンもしくは戦意喪失し3秒以内に立ち上がった時、または倒れはしないがバランスを大きく崩した時は技ありとする。一般男子以外の階級はノーガード状態で蹴りがクリーンヒットした場合も技ありとする。中学生以上、上段膝蹴りを有効とする。(小学生以下禁止)  
 ②前蹴り・下段蹴り・足掛け技などにより相手をきれいに転倒させ瞬時に下段突きを決めた場合、又は胴廻し回転蹴りをおかし瞬時に下段突きを決めた場合、技ありとする。

7. 判定 審判判定基準優先順位  
 ①一本勝ち、失格がない場合は、主審1名、副審4名(2名)のうち3名(2名)以上の審判の判断を有効とする。  
 ②技ありがある場合は、技ありを優先とする。 ③技ありがない場合は、ダメージを優先とする。  
 ④ダメージのない場合は、有効打を含めた手数・足数を優先とする。  
 ⑤有効打を含めた手数・足数が同じ場合は、気迫が勝っている方を勝ちとする。  
 ⑥「注意」がある場合は「審判判断基準」に基づく。  
 ⑦判定が決まらない場合は延長戦を行い、延長戦でも決着しない場合は最終延長戦で勝敗を決定する。

8. 反則 ①手、肘による顔面及び首・のどへの攻撃。手先がふれても反則とする場合がある。②金的蹴り・頭突き。  
 ③上段膝蹴り: ヒットした場合は注意が与えられる(小学生以下) ④倒れた相手や背後からの攻撃。  
 ⑤故意に場外に出ること。⑥掌底押し、正拳押し、つかみ、投げ、手掛け、クリンチ。  
 ⑦頭や胸をつけての攻撃(小学生以下) ⑧技の掛け逃げ。(蹴ってすぐに倒れ相手に攻撃させない)  
 ⑨「倒れこむ様な捨て身の蹴り(回転胴廻し蹴り等)は、1試合1回までとし(本戦1回、各延長1回)それ以上繰り返す場合は反則とみなす。  
 ⑩その他、審判が反則とみなした場合。  
 ⑪反則行為には注意が与えられ、注意4回で失格となる。注意は先に反則を仕掛けた方に与えられる。  
 ⑫悪質な反則の場合は、失格もありうる。

9. 減点 ①注意を2回与えられたとき。②悪質な反則を行ったとき。  
 ③審判の判断により、悪質な試合態度とみなされたとき。④減点2で失格となる。

10. 失格 ①減点2となったとき。②出場時刻に遅れたり、出場しないとき。  
 ③試合中、主審が試合終了の合図を行う前までに嘔吐下したとき(小学生以下)  
 ④審判員の指示に従わず、悪質な試合態度とみなされたとき。判定時「雄叫び」「ガッツポーズ」等  
 ⑤応援態度が悪質な場合も選手の失格となることがある。  
 相手選手に対し「効いてる」「倒せ」等の礼節を欠いた応援は禁止です。  
 ⑥当日の計量により、規定の制限体重を超えているとき。(空手衣を着用し2kg以上超えた場合失格)  
 ⑦申告体重と計量体重に5kg以上の差がある場合、失格もありうる。  
 ⑧反則により相手が試合続行不能になったとき。

11. その他 判定に対する抗議は一切認めません。

# 第 31 回 極真空手道選手権福島県大会

(IBKO 第 10 回全日本空手道選手権大会組手の部指定)

## 出 場 申 込 書

大会実行委員長殿

平成 年 月 日

私議、下記の通り相違なく本大会のルールに従い正々堂々と競い合う事をここに誓います。

又、本大会中における負傷・事故につきましては、主催者側にその責任は問いません。

団体名 \_\_\_\_\_

(団体名にフリガナをお願い致します)

団体住所 \_\_\_\_\_

氏名 (未成年は保護者氏名) \_\_\_\_\_ 印

フリガナ		性別	生 年 月 日		
氏 名		男・女	平成	年	月 日 歳
		連絡先	( )	—	
住 所	〒 —				
職業・学年		空手歴	年 月		
級・段位	級・段	身長	c m		
色 帯	色帯	体重	k g		
出場クラスを ○で囲む	①小学1年女子 ②小学1年男子 ③小学2年女子 ④小学2年男子 ⑤小学3年女子 ⑥小学3年男子				
	⑦小学4年女子 34kg 未満 ⑧小学4年女子 34kg 以上 ⑨小学4年男子 34kg 未満				
	⑩小学4年男子 34kg 以上 ⑪小学5年女子 38kg 未満 ⑫小学5年女子 38kg 以上				
	⑬小学5年男子 38kg 未満 ⑭小学5年男子 38kg 以上 ⑮小学6年女子 43kg 未満				
	⑯小学6年女子 43kg 以上 ⑰小学6年男子 43kg 未満 ⑱小学6年男子 43kg 以上				
★全日本選抜	⑲中学1年女子 47kg 未満 ⑳中学1年女子 47kg 以上 ㉑中学2・3年女子 52kg 未満				
	㉒中学2・3年女子 52kg 以上 ㉓中学1年男子 50kg 未満 ㉔中学1年男子 50kg 以上				
	㉕中学2・3年男子 55kg 未満 ㉖中学2・3年男子 55kg 以上 ㉗高校1年男子 60kg 未満				
	㉘高校1年男子 60kg 以上 ㉙高校2・3年男子 65kg 未満 ㉚高校2・3年男子 65kg 以上				
全日本選抜外	A]幼児 B]小学1年 C]小学2年 D]小学3年男子 E]小学4年男子 F]小学5年男子				
	G]小学6年男子 H]小学3・4年女子 I]小学5・6年女子 ※幼児・小学1・2年は男女混合				
	J]一般女子 K]一般男子初級 L]マスターズ M]一般男子				
IBKO 第 10 回全日本大会 【組手部門】 出場権獲得状況	大会名 ( ) 順位 ( ) 位) ※既に第 10 回全日本大会【組手の部】出場権獲得済みの選手は必ず記入!				
大会入賞歴※入賞経験者は記入					